

民生委員・児童委員

民生委員は児童委員を兼ね、生活や福祉全般、妊娠や子育ての不安など、地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役です。

麻生田校区 民生委員・児童委員の取り組み 手作りマスクを巡回配布

麻生田校区では、第5町内自治会会長の秋吉展明さん主導のもと、同町内自治会が住民向け手作りマスク作成にいち早く取り組み、その後に続く形で1～4町内の民生委員・児童委員が1人暮らし高齢者世帯のためのマスクを制作。完成後は「出来、不出来がありますが使ってください」という手書きメッセージを添えて、1軒1軒配って回りました。

「特に男性から『自分では作れないから助かる!』と喜んでもらえました。ゴムが手に入らず代用品の工夫に手を焼きましたが、喜びの声をいただき苦労も吹き飛びました」と、同校区民生委員児童委員協議会会長の徳永 民子さんは振り返ります。また、この活動がきっかけとなり、第1町内では敬老の日のお祝い品贈呈など新たな活動もスタート。地域の結束がますます強まっています。



↑対面でマスクを手渡し「他に困りごとがないか?」も聞き取り

校区防災連絡会

校区防災連絡会は「自助」「共助」を市民や地域で取り組むことを目的に、地域と行政と施設管理者などで組織され、日頃からの防災体制の強化に取り組んでいます。

秋津校区 防災連絡会の取り組み 地域独自の防災マップで命を守る

益城町に隣接する秋津校区は、熊本地震の際に大きな被害を受けました。その経験と教訓を生かすため、平成30年4月に校区防災連絡会を結成。地域住民の声を聞き取り、校区独自の地形や環境を考慮した防災マップ(地震編・洪水編)を今年3月に完成させました。9月に台風による避難指示が出た際はその成果を発揮。

「浸水想定エリアに住む方が、いち早く北側エリア(桜木小、桜木東小、桜木中)に避難し、防災意識がしっかり浸透しているとわかりました。今後は近隣校区と連携し、命を守る行動につなげていきたい」と、校区防災連絡会事務局長の吉住 洋三さん。

今後は年に2回、広報誌を刊行。「防災意識を高めるとともに、頼られる存在になっていきたい」と前を向きます。



↑完成した防災マップは6月に自治会役員等が配布

町内自治会をもっと知ろう

町内自治会の活動計画や報告、決算などの回覧物がきたら、中身をよく見てみましょう。実は暗い路地の防犯灯やごみステーションの管理も町内自治会でやっているんですよ!

例えば、ごみステーションの管理や地域清掃活動が行われないとどうなるのでしょうか?その答えは動画でチェック!

本市公式You Tubeチャンネルで動画をチェック!

～防災編～



平時から住民同士のつながりを育むことが、災害発生時の安心・安全につながります



～ごみステーション編～



ごみステーションを管理し地域で環境美化を行うことは、防犯まちづくりに一役買っています



今、私たちができる地域活動

「地域活動」や「地域づくり」と聞くと、「ちょっと難しい」と思われがちですが、そんなことはありません。日々の暮らしの中で、ちょっと気を配ったり、一歩踏み出すだけで、あなたのまちはもっと住みやすく魅力的になりますよ。

1 町内回覧板をよく読もう



町内回覧板には私たちが住んでいる町内のいろんな情報や地域活動が紹介されています。自分の住むまちの新たな発見や地域活動への参加の呼びかけがあるはずですよ。

2 清掃活動に参加しよう



公園などのみんなが集まる場所を中心に定期的に清掃活動を行っている町内もあります。自分たちの住むまちをきれいにする地域活動で、一緒に汗を流しませんか?

3 地域の催しに参加しよう



地域では、住民同士の交流のために夏祭りやどんどや、スポーツレクリエーションなどのいろんな催しが開催されます。参加するだけでも立派な地域活動ですよ!

4 資源物回収に参加しよう



町内自治会や子ども会などが定期的に開催する資源物回収に古紙やガラスびんなどの資源物を持っていきましょう。収集された資源物の買い取り金や熊本市からの助成金が地域活動の貴重な財源になっています。

5 市民活動支援センター・あいぽーとを活用しよう



あいぽーとでは、ボランティアをやりたい人と手伝ってもらいたい地域団体等のマッチングやボランティア活動に興味がある方が活動を実践できるよう研修などの支援に取り組んでいます。あいぽーとのホームページでは、募集中のボランティア活動やボランティアのコツなどの情報を掲載しています。興味のある活動を見つけて、実際にやってみませんか?

あいぽーとで紹介する主なボランティア

- ・市街地の清掃
- ・防災活動
- ・子どもたちの見守り
- ・障がい者の生活支援
- ・レクリエーションのお手伝い
- ・夏祭りなどのイベントの準備の手伝い など

(地域政策課 ☎096-328-2031)



作: 桜田幸子